



### 府中市で同性パートナーシップ制度が始まります。

9月議会で「同性パートナーシップの公的承認についての陳情」が全会一致で採択されました。

これを受け、府中市は2019年4月1日から「**府中市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱**」を策定し、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う、多様性を認めるまちづくりを目指します。

須山も2017年の9月議会で取り上げ、働きかけてきた経緯もあり、今後も誰もが住みやすいまち府中となる様に、市の動向を注視してまいります。



2018年12/3～12/18、府中市議会第4回定例会が開会。

須山が委員長をつとめる文教委員会では4議案が審議。

- 「府中市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」  
厚労省の基準緩和に伴う改正。代替保育である家庭的保育事業者の参入障壁の緩和が見込まれ、待機児童解消へとつないでまいります。

●「絵画の買入れ」

5～7月に府中市美術館で好評を博した企画展、「長谷川利行」の「白い背景の人物」を購入することが決定いたしました。府中市美術館の財産として、府中の文化の発展に寄与して頂きたいと思っております。

…等全4件、全会一致で可決されました。

### 「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」が可決されました。

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を府中市として国に提出するという案が一部会派を除いた府中市議会から出されました。所属会派・市民フォーラムも賛同会派として署名しています。

現在、夫婦同姓を義務付けている国は世界で日本だけ。96年に法制審議会が民法改正を答申してから22年という歳月が経過していますが、いまだ選択的夫婦別姓制度を導入する法改正の見通しは立っていません。

現在でもどちらの姓を選ぶかは可能ですが、大体において男性側の姓が選択されることが多く、そこに不自由を感じている方が多くいることが現実です。

姓を選択出来る幅が広がることで、不自由を感じる方がいなくなるように早急に制度化が必要だと考えます。

どちらの姓を選択するのか？どの姓を名乗って生きていきたいのか。自分らしくあるために、夫婦で話し合い、ふたりで解決していくことが必要ではないでしょうか。

皆さんはどうお考えですか？



一部の会派からは反対されましたが、賛成多数で可決されました。今後の府中市の動向を注視してまいります。

市政に対してお困りごとや、皆さまのご意見をお聞かせください。




---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

お名前 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ メール \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

お手数ですがFAX(042-307-8309) または切り取った上、ポストに投函をお願いいたします。

「1票の行使」は社会参加の最たるもの！

2015年に18歳選挙が始まり、2022年には成年年齢が引き下げられる予定です。「主権者」として若者が社会に参加していくための「主権者教育」は今後、更に必要となっていくと考えます。

同時に、障害者等支援が必要な方にとって縁遠いものになりがちな「選挙」や「投票所」を制度や取り組みで身近にしていってほしいと考え、質問いたしました。



主権者教育に関する取り組みは？

小学校6年生と中学校3年生が社会科、公民分野において学習。本市独自の取り組みとしては、中学生の自治力を高め、学校の課題を他者と連携・協働しながら主体的に解決しようとする意識を育む**生徒会リーダー研修会**を年2回を35年継続。

府中市の世論調査による「若者の市政の関心度」



この結果からも分かる通り若者の政治離れが進む中で、抜本的な改革が必要なのではないでしょうか？新学習指導要領の中では主権者教育も明記をされており、府中市として国や社会の問題を**自分ごと**として捉えられる、府中っ子を育てるために、教育分野での改善を進めることを要望しました。

郵便はがき

〒183-8790

料金受取人払郵便

武蔵府中局  
承認

2491

府中市晴見町1-15-73

差出有効期間  
平成31年7月19日まで  
切手を貼らなくても  
投函できます。  
貼っていただける方は  
ご協力をよろしくお願  
いいたします。

府中市議会議員  
須山 たかし 行



須山たかしプロフィール

1980（昭和55）年11月6日生まれ。晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾において高野孟に師事。民間特許事務所に勤務後、連舩参議院議員秘書などを経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。

「府中市議会議員 須山たかし」で検索

府中市では障害などで支援が必要な方にはこのような投票所でのご支援  
支援をしています。



投票所でのご支援

- ・スロープや手すり、車椅子対応の記載台、拡大鏡等の設置。
- ・投票用紙に自書できない方：投票事務従事職員による投票用紙への代理記載。
- ・視覚に障害のある方：点字器や点字版での氏名等掲示。
- ・知的障害者の方：意思疎通を補助するためのコミュニケーションボードを投票所に設置。
- ・投票所の職員：投票事務マニュアルに、障害のある方などへの配慮事項を記載し、事務説明会で説明している。

投票所以外のご支援

- ・点字シールを添付した封筒で音声版の選挙公報や入場整理券を送付。
- ・肢体不自由の方：両下肢や移動機能の障害1、2級。心臓、腎臓などの障害1、3級。介護保険の要介護5の方々は、郵便等投票制度が利用可能。

誰もが**一票の行使**がしやすい環境をつくるため、狛江市の「総合的な主権者教育計画」等を参考に提案をいたしました。

市議会以外での活動の一部をご紹介します



河合弘之弁護士が監督した映画『日本と原発 4年後』の上映会を行い、原発の問題を市民の皆さんと考えました。

学生たちとフードバンク、「セカンドハーベスト」を視察。CEOのマクジルトン・チャールズ氏と「貧困」を議論、連携していきます。



井手英策・慶應義塾大学教授と地方議員の仲間とともに地方発の「わたしたちの政策」を作りました。

立憲民主党東京都連の仲間と豪雨災害で大きな被害を受けた岡山県倉敷市真備町にボランティアに。



日々の活動はHPからご覧いただけます。



立憲民主党青年局が立ち上がり「副事務局長」を拝命。学生部の担当になりました。